

社会福祉法人一乗会	事業計画 令和2年度 法人本部	発行日	令和2年4月1日
		改訂番号	18
		ページ	3

はじめに

平成から令和への初年度は、政府による働き方改革の推進にともなう雇用環境の変化や人手不足の問題があらゆる業種において顕在化し、従来からの医療・福祉分野における人材の確保と育成の問題に留まらず、当法人の事業所毎の人材確保においても、その事業所特性により明暗が分れることとなりました。とりわけ施設入所支援を担うリベルテにおいては、入居者の高齢化や疾病に伴う様々な課題への対応と、命を守る支援を24時間行うための人材確保・配置が、年間を通してのテーマとされた一年でした。

今年度も引き続きこの課題を背負いつつ、一方では昨年度下期からの相模原市単独加算の変更にとともなう収入減や、これまでの事業所間の繰入金影に隠れていたグループホームの入居定員割れや、相談支援事業等における経費負担の課題が法人運営の上で表面化せざるを得ない年となります。

法人と事業所の運営は、決して単年度で捉えるべきものではありませんが、過去数年にわたって続けてきた建物等の住・活動環境の改善が一段落した今、それぞれの事業所における運営上の個別課題を明確にし、今年度に取り組むべき課題に対しては、各管理者の率先した取組みを通して改善と実績に繋げていくことが求められます。

以上の点を踏まえた今年度の法人基本目標と方策について述べます。

1 経営理念

- * 快適な環境の中でいつも明るく楽しい施設
- * 利用者の「いきる力」の育成に努める施設
- * 利用者と職員の心と心がふれあい、誠意をもって対応する施設
- * 利用者の意向を十分に尊重し、尊厳を保持する施設
- * 地域社会と積極的に交流する施設

2 経営方針

社会福祉法、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）等をはじめとする関連法規を遵守します

- * 利用者の信頼とニーズに応えるとともに、自立を目指したサービスを提供します
- * 障害特性に応ずる技術・知識・コミュニケーション方法の向上に努めます
- * 地域に根差し、開放された施設運営を目指します
- * 最小の経費で最大の効果をあげる創意と工夫に努めます

3 令和2年度法人基本目標と方策

(1) 各事業所の利用者・入居者の高齢化と疾病に伴う諸課題を明確にし、それぞれの課題に対して組織的に取組みます。

社会福祉法人一乗会	事業計画 令和2年度 法人本部	発行日	令和2年4月1日
		改訂番号	18
		ページ	4

- ①利用者の健康に関して、嘱託医師の指導を仰ぐとともに、事業所内での部門・職種間の情報共有の仕組みを生かして、日々の支援連携に努めます。
- ②利用者の健康と疾病に伴うリスクに関して、家族面談等を通して家族や後見人等との情報共有を図るとともに、支援の実情の理解と協力を得ることに努めます。
- ③地域における緊急搬送先や医療的ケアを必要とする重度の知的障害者の終の棲家や、重度心身障害通所者の親なき後の入居先等について、行政や関係諸機関との連携を通して個別のケースに対応できるように努めます。

(2) 各事業所の利用者・入居者個々のニーズに合わせた支援と介護を継続するために、職員を柔軟的に配置し、事業所ごとの支出に見合った収入の確保を目指します。

- ①障害福祉サービス利用希望者の情報を事業所間で共有し、見学や体験利用の増加を通して、事業所の特性にそった利用者確保に努めます。
- ②地域における障害者のニーズにそった事業所運営を心掛けるとともに、必要に応じて事業所の移転や再編も視野に入れた施策を模索します。
- ③事業所の運営にあたっては、管理者の指導の下で予算管理を行い、創意と工夫を通じた日々の経費の削減に努めます。

(3) 安定的な人材確保を目指した情報発信と魅力ある職場作りを進めます。

- ①事業運営の透明性向上の主旨に則った情報公開に取り組むとともに、求職者が見やすい法人ホームページの作成と更新に努めます。
- ②会議、委員会の活動や管理者による職員指導と育成を通して、職員相互間の連携を育むとともに、客観的に妥当性のある支援の構築に努めます。
- ③特別支援学校生の実習の受け入れ、教育実習等の単位取得に係る実習生の受け入れ、インターンシップやボランティアの受け入れ、オンブズマン等により、地域との共生を図り、特に法人祭の実行では、地域住民の方との相互理解を深める機会とします。

4 各事業所の支援サービスにおける基本方針

(1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づく「障害福祉サービス」を提供します。また、障害者等の必要性に応じて、福祉サービスが確保できるよう事業ごとにその制度、運営基準等に則って事業を展開します。

(2) 各事業所の事業計画における「年間支援計画表」の月次、四半期毎の生活目標に基づく具体的な支援テーマと行動プログラムを立案し、職員間での周知と利用者への説明を行い、年間を通じた福祉サービスの提供にあたります。

- *支援の留意 *生活全般目標 *健康・安全 *環境整備
- *行事 *その他

また、事業計画の「事業の活動」における支援・介護方針に則った日々の

社会福祉法人一乗会	事業計画 令和2年度 法人本部	発行日	令和2年4月1日
		改訂番号	18
		ページ	5

支援に努め、職員相互間での検証と改善を通して事業所毎の運営方針の徹底を図ります。

5 法人が運営する事業

(1) 第一種社会福祉事業

(イ) 障害者支援施設の経営 (施設入所支援、生活介護 [昼間])
リベルテ

(2) 第二種社会福祉事業

(イ) 障害福祉サービスの経営 (短期入所) リベルテ ルット
(生活介護) リベルテシュマン
(生活介護) ロシナンテ
(共同生活援助) ロンド・リアン
(短期入所) ロンド・リアンⅡ
(生活介護) パンサ
(共同生活援助) エクラ
(短期入所) エクラⅡ

(ロ) 特定相談支援事業の経営 ぼらりす

(ハ) 一般相談支援事業の経営 ぼらりす

6 理事会・評議員会の開催予定

令和2年 5月30日(土)	理事会	令和元年度事業報告 令和元年度計算書類、その付属明細書 並びに財産目録承認 令和元年度監事監査報告 執行状況報告、その他
6月20日(土)	定時評議員会	令和元年度事業報告 令和元年度計算書類及び財産目録承認 その他
11月21日(土)	理事会	令和2年度第一次補正予算 執行状況報告、その他
令和3年 3月20日(土)	理事会	令和2年度第二次補正予算 次年度予算、次年度事業計画 その他

社会福祉法人一乗会	事業計画 令和2年度 法人本部	発行日	令和2年4月1日
		改訂番号	18
		ページ	6

7 設備・修繕等

* 以下の設備と修繕は、各事業所から求められている事柄です。緊急性のあるものを除き、予算措置次第により次年度以降の継続課題となる可能性もあります。

	事業所名	内 容	備 考
設備	ロシナンテ	① 空調機入替（3区画） ② 厨房拡張 ③ ナースコール設備入替 ④ 高圧設備入替	環境改善の為 食形態の煩雑化に伴い、調理場の拡張を要する為 平成6年設置 （平成5年製 27年経過） 平成6年設置 （平成5年製 27年経過）
	リベルテ	① PAS、LBS 5台、リアクトル／SC 2台入替 ② 自動火災報知設備入替 ③ 自家発電機	PASの更新推奨期間10年を超え16年使用 自動火災報知設備等の生産終了に伴う修繕部品入手困難となった為 災害時全館対応の為
修繕	ロシナンテ	① 建物外壁クラック等補修 ② トップライト補修 ③ 避難用スロープ塗装 ④ 物置屋根塗装（2棟）	雨水浸透による劣化の改善の為 雨漏り防止の為 雨水浸透による劣化の改善の為 雨水による腐食の拡大防止の為
	リベルテ	① 屋上防水工事	雨漏り防止
	パンサ	階段補修及び塗り替え工事	雨等による塗膜劣化の改善、腐食防止

8 営繕

（1） 設備機器使用期間

機器箇所	使用範囲	使用の時期
冷房・暖房	施設全体	冷房 6月～10月
		暖房 11月～3月

（2） 定期清掃

実施項目	実施範囲	委託先業者
ガラス清掃 塩ビ床シート洗浄ワックス エアコンフィルター清掃 グリストラップの清掃	ロシナンテ リベルテ	(有)コビカ

社会福祉法人一乗会	事業計画 令和2年度 法人本部	発行日	令和2年4月1日
		改訂番号	18
		ページ	7

9 保守

(1) 定期点検と保守点検

点検内容	区分	委託先業者
建物目視点検 貯水槽点検と清掃 害虫対策と駆除	点検と整備	(有)コビカ
防災設備	法定点検	(株)カワゾエ
受変電設備点検、非常電源 設備点検	法定点検	日本テクノ(株)
エレベータ点検	法定点検	日伸セフティ(株)

(2) 防災訓練

* 下記の訓練計画の他、消防署より検証訓練の指導がある場合は追加の計画を設定する。

リベルテ /シュマン	ロシナン テ	ロンド・ リアン	パンサ /エクラ	内 容	時期
昼間想定	昼間想定	昼間想定	昼間想定	通報訓練、消火訓練、 避難訓練 不審者侵入対応	5月
夜間/昼間 想定(シュマン)	昼間想定	夜間想定	昼間/夜間 想定(エクラ)	通報訓練、消火訓練、 避難訓練	10月
設備機器と非常食の点検 (全利用者分+全職員分) × 3日分				防災倉庫内の品、食料の 備蓄の点検と更新(専用 の台帳を設け、在庫品、 購入品、使用品等を記録 する。)	4月
安全点検				火気、非常出口、危険 物、防災設備の点検	訓練時

社会福祉法人一乗会	事業計画 令和2年度 法人本部	発行日	令和2年4月1日
		改訂番号	18
		ページ	8

1 0 法人内横断的委員会・会議等

委員会・会議名	開催基準	全事業所	リベルテ	ロシナンテ	パンサ/ エクラ	シュマン	ロンド・ リアン
管理者会議	1回/月	第1火曜日	—	—	—	—	—
運営会議 (人退所調整会議含む)	1～2回/月	—	第2火曜日 第4火曜日	随時	随時	随時	—
朝の連絡会	毎日	—	毎日	毎日	毎日	毎日	—
職員会議	1回/月	—	第4木曜日	第4火曜日	毎月 下旬	第4水曜日	随時
フロア会議・ ケース会議	2回/月	—	第1木曜日 第3木曜日	随時	随時	随時	随時
給食委員会	1回/月	—	第2月曜日	第2木曜日	第2木曜日	第2月曜日	—
保健委員会	隔月	—	随時	随時	随時	随時	—
虐待防止委員会	1回/月	—	第2木曜日	第3木曜日	随時	随時	—
相談クレーム調整解 決委員会	随時	—	随時	随時	随時	随時	随時
防災・防火委員会	2回/年	—	4月、9月 第3木曜日	4月、9月 第2火曜日	4月、9月 第4木曜日	4月、9月 第3木曜日	随時
広報委員会	随時	—	随時	随時	—	—	—
文書管理委員会	随時	—	随時	—	—	—	—
研修委員会	2回/年	—	随時	随時	随時	随時	—
安全衛生委員会	1回/月	第1木曜日	—	—	—	—	—
個別支援計画策定モ ニタリング会議	2回以上/ 年	—	随時	随時	随時	随時	随時
サービス提供検討委 員会	随時	—	随時	随時	随時	随時	—
家族の集い	—	—	年1回他必 要に応じ	随時	随時	随時	随時

1 1 資金計画

通常経費は、経理区分間繰入金収入、寄付金、雑収入、自己資金などで運営する。